

飲酒運転は絶対にしないで

飲酒運転根絶を呼びかけ街頭啓発を実施



▲チラシを配布し飲酒運転根絶を呼びかけました

「おおいた年末・年始の事故ゼロ運動」初日の12月14日(金)、野田市長、猪俣市議会議長をはじめ市議会議員、国東警察署員、市役所職員などの約80人が参加して交通安全と飲酒運転根絶を呼びかけました。

10日(月)に開会した国東市議会第4回定例会で、「国東市飲酒運転根絶に関する条例」案を全会一致で可決しました。この条例には、昨年9月に施行された改正道路交通法で追加された「車両提供罪」「酒類提供罪」「同乗罪」が盛り込まれており、市単独での条例制定は県内では初めてとなります。

出発式で、野田侃生市長、猪俣俊雄市議会議長、足立正人署長が「市民の皆さんと一緒に、飲酒運転や事故のない明るいまちづくりに取り組んでいきましょう。」とあいさつ。この後、参加者全員でドライバーに同条例が書かれたチラシなどを配布し、交通安全と飲酒運転根絶を呼びかけました。

犯罪のない明るい国東市に

国東市防犯対策推進協議会発足会

12月6日(木)午前9時30分からアストくにさきで、国東市防犯対策推進協議会（会長野田侃生市長・19名）の発足会が開催されました。

この協議会は、犯罪のない明るい国東市を築くことを目的として設立され、区長会、老人クラブ、婦人会、PTA、地域の自主防犯組織の代表者など防犯活動に関わっている方で構成されています。

発足会には、委員のほか国東警察署、市役所の職員ら17名が出席。はじめに野田市長が国東市区長会国見地区代表理事の鴛海孝典さんに委嘱状を交付。野田市長、足立正人国東警察署長のあいさつに続き、協議会の趣旨、市内の現状について、事務局から説明がされ、意見交換が行われました。

今後は、国東市を明るく安全で住みよいまちにするよう、各団体が連携して青少年の非行防止や防犯パトロールなど防犯活動を行うこととしています。



▲協議会のようす

未成年者には買わせない！

大分県内では、2008年5月から自動販売機でのたばこ購入に専用のICカードが必要になります

未成年者喫煙防止、たばこ購入防止の更なる強化を図るため、2008年5月から、成人のみに発行されるICカード「taspo（タスポ）」が無いと自動販売機でたばこが買えなくなります。

この取り組みは、全国たばこ販売協同組合連合会、社団法人日本たばこ協会、日本自動販売機工業会が主体となって行っています。

taspo（タスポ）カードの申し込み（成人の方のみ）

- ①2008年1月下旬からカードの申し込み受付が始まります。
- ②taspo 申込書は、1月中旬から県内のたばこ販売店等に設置されます。
- ③申し込みには、顔写真と免許証等の本人確認書類の写しが必要です。
- ④発行手数料、年会費は無料です。

taspo 申し込み無料イベントを実施します

実施日 1月29日(火) 午前11時～午後4時

場所 国東市役所1階

※申し込みに必要な顔写真撮影、本人確認書類等のコピーを無料実施いたします。

未成年喫煙防止のため、この取り組みに皆さんのご協力とご理解をお願いいたします。

問い合わせ

(社)日本たばこ協会 taspo 運営センター
フリーダイヤル 0120-222-180

